

装飾文字デザイン

この度は、フリーソフトウェア「装飾文字デザイン」をダウンロードして頂き、ありがとうございます。このソフトは、Windows10/11 でご使用ください。

モニター解像度1200×770以上を推奨します。

グラフィックエディター(「ペイント」は不可)で「切り抜き」や「加工」、「合成」が必要です。紙やシールに印刷する場合は、「カラープリンター」が必要です。

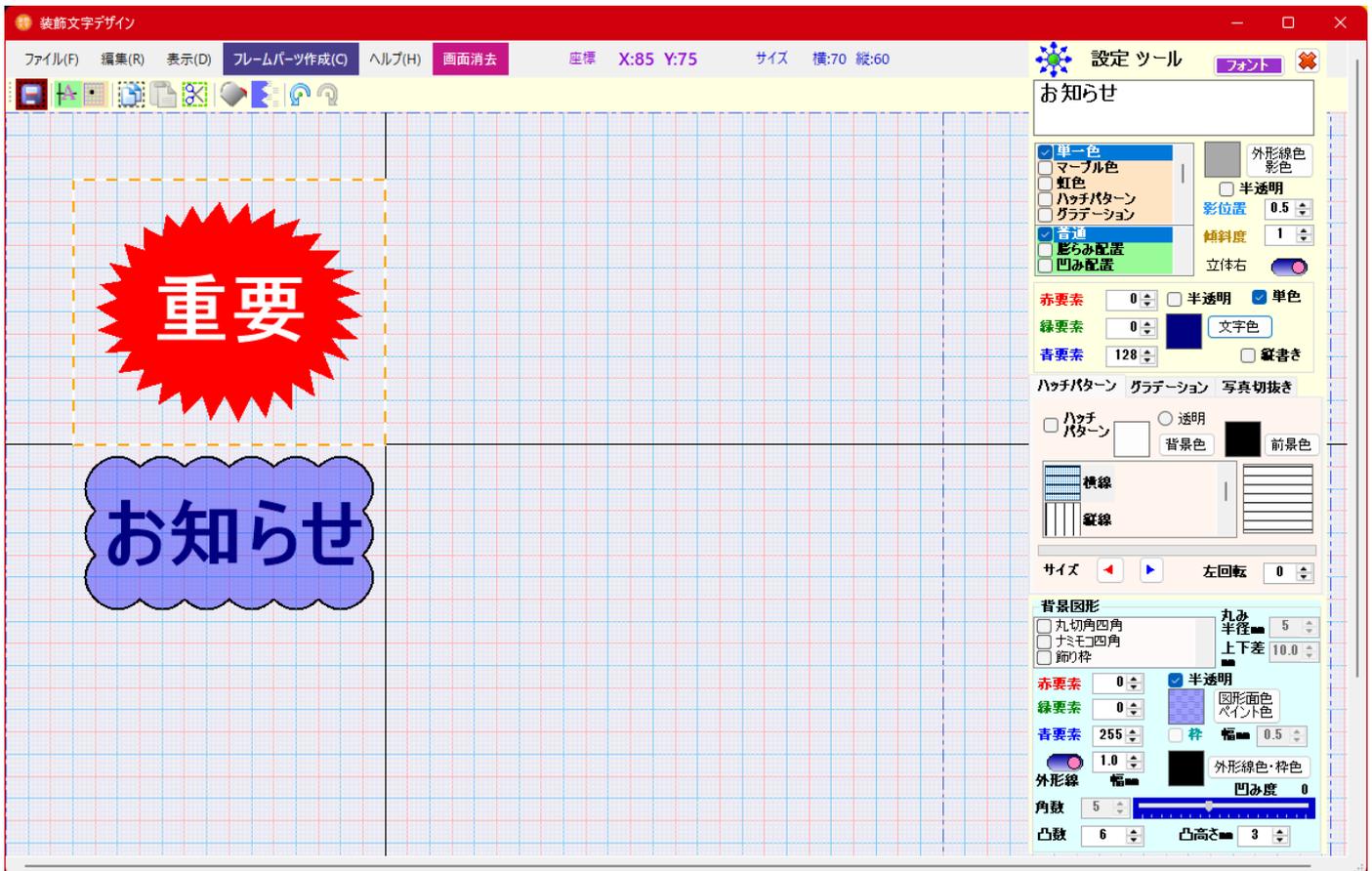
――装飾文字デザインの特徴――

6種類の色付け、8種類の形状、4種類の配置で装飾文字をデザインする事や四角、円、楕円、付箋、リボン等20種類の背景図形上に装飾文字を記入デザインするソフトです。

お手持ちのフリー素材の飾り枠画像で文字の周囲を装飾できます。

単色塗り、ハッチパターン塗り、グラデーション塗り、半透明色塗りができます。

透明色の文字、図形(外形線付)も作成できます。



上部は、メニュー、現在のカーソル位置表示、図形サイズ表示、ツールバーがあります。

その下は、デザイン領域です。右側には、「設定ツール」パネルがあります。左上の  をクリックしてドラッグすると、「設定ツール」パネルを本ソフト画面内で自由に移動できます。

(上記、白とオレンジの点線は、「範囲保存」範囲指定中)

作成できる基本文字の種類

内容詳細

単一色	装飾文字デザイン	普通の色付き文字です。
マーブル色	装飾文字デザイン	線状の違う色を並べマーブル色にする。
虹色	装飾文字デザイン	フォントサイズに関係なく7色にする。
ハッチパターン	装飾文字デザイン	ハッチパターンで文字を装飾します。
グラデーション	装飾文字デザイン	グラデーション色で文字を装飾します。
切抜き写真	装飾文字デザイン	写真の一部を文字で切抜きます。(色合)
縁付き	装飾文字デザイン	文字と別の色で文字の輪郭を囲みます。
縁付き(透明)	TRY	透明色の縁付き文字です。(左例:単一色+縁付)
縁付き(写真)	装飾文字デザイン	写真の一部を縁付き文字で切抜きます。
影付(浮き)	装飾文字デザイン	文字の下に影を付けます。浮いた状態
影付(直立)	装飾文字デザイン	文字の裏に伸びた影を付けます。直立
立体	装飾文字デザイン	文字を立体的に厚みを付けます。左向有
凹	装飾文字デザイン	文字が紙面より窪んだ状態に見えます。
凸	装飾文字デザイン	文字が紙面より飛出した状態に見えます。
膨らみ配置	装飾文字デザイン	文字の真ん中が浮出した状態に見えます。
凹み配置	装飾文字デザイン	文字の真ん中が凹んだ状態に見えます。
跳ね上げ配置	装飾文字デザイン	文字の右端を上跳ね上げた配置です。
円形配置	装飾文字デザイン	文字を円形に並べます。



背景図形 図形の形状は、20種類背景図形に色付外形枠(幅0.5~30mm)を付けることができます。

図形名	形状	枠作成	ハッチパターン	グラデーション
四角		枠内面透明	○	○ 線形シンメトリー可
角丸四角(長丸)		枠内面透明	○	○ 線形シンメトリー可
丸切角四角		枠内面透明	○	○ 線形シンメトリー可
楕円(円)		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
付箋		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
荷札		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
リボン		色消去使用で 枠内面透明可	○	○ 線形シンメトリー可
トーク		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
ブック		色消去使用で 枠内面透明可	○	○ 線形シンメトリー可
扇		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
ハート		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
平行四辺形垂直		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
平行四辺形水平		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
台形		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
菱形		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
正多角形		色消去使用で 枠内面透明可	○	○
星形		色消去使用で 枠内面透明可	○	○

上記の他に「ギザトゲ楕円」「ナミモコ四角」「飾り枠」があります。

グラデーション

放射形：「四角」～「ハート」は、円形放射／「平行四辺形垂直」～「星形」は、角クロス型放射。

線形シンメトリー：グラデーションの角度0°、90°、180°、270°のみです。

ブックは、角度0°、90°のみです。リボンの下段グラデーションの左右入替えができます。

写真塗り 「四角」のみ写真塗り、写真枠を作成可能。

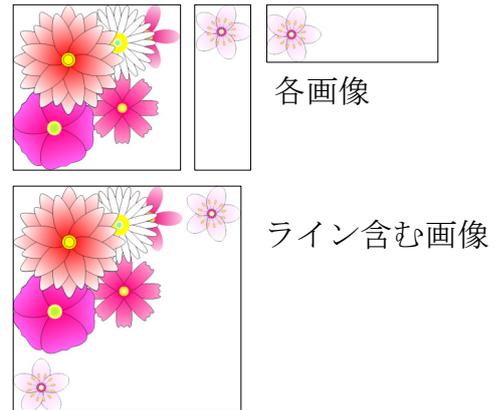
図形の描き方 (設定、図形の大きさによって意図した形状にならない場合があります)

- 1) 四角、角丸四角、丸切角四角、楕円、菱形、飾り枠 (角丸、丸切角のRは、「丸み半径」で設定)
範囲の左上をクリックしてから、右下をクリックする。[飾り枠詳細は、次頁参照](#)
- 2) 付箋
1) に同じ。起点位置より左に10mm糊付部分が出る。表面色は、薄い色が良いです。
- 3) 荷札
1) に同じ。起点位置より左に20mm穴&紐部分が出る。
- 4) リボン (線形シンメトリー：中から外への線形グラデーション) リボン端の色左右入替え可能
1) に同じ。設定位置より左右に10mmリボン端部分が出る。下にリボン高さの1/3が出る。
- 5) トーク (角のRは、「丸み半径」で設定)
1) に同じ。設定位置より下に10mm吹き出しが出る。
- 6) ブック (外形色は表紙の色設定)
1) に同じ。開いた本の形状。範囲の上側に少し出る。「外形線有」は、ページ紙・表紙を描く。
- 7) 扇 (上アーチと下アーチの線分差を「上下差」で設定)
範囲の左をクリック、右位置をクリックし、垂直に上げた位置でクリックする。上側に少し出る。
- 8) ハート
1) に同じ。範囲の上側に少し出る。
- 9) 平行四辺形垂直
範囲の左上をクリックし、右上の傾けたい位置をクリックし、垂直に下げた位置でクリックする。
- 10) 平行四辺形水平
範囲の左上をクリックし、左下の傾けたい位置をクリックし、水平に移動位置でクリックする。
- 11) 台形 (上底と下底の線分差を「上下差」で設定)
範囲の左をクリックし、右位置をクリックし、垂直に下げた位置でクリックする。
- 12) 正多角形 (3角形～8角形)
角数(3～8)を入力する。範囲の左上をクリックしてから、右下をクリックする。
- 13) 星形 (3角形～8角形)
角数(3～8)を入力する。凹度を設定する。範囲の左上をクリックしてから、右下をクリックする。
- 14) ナミモコ四角
凸数、凸高さを設定します。凸数は、長辺1辺あたりの数です。
範囲の左上をクリックしてから、右下をクリックする。
指定範囲の内側に凸部分を含めて描かれます。
- 15) ギザトゲ楕円
凸数、凸高さを設定します。凸数は、全周の数です。
範囲の左上をクリックしてから、右下をクリックする。
指定範囲の外側に凸部分が描かれます。

枠内面透明の背景図形

- ▶ 四角、角丸四角、角切丸四角の枠(中抜き)を描く場合、「枠」をクリックしチェックマークを付けます。枠線の幅(0.5～30mm)を入力します。
- ▶ その他の図形は、外形線付で単色の図形を描き、「色消去」をクリックし、単色部分をクリックすると透明になります。

飾り枠詳細



準備する物

左上側コーナーのパーツ画像、上ライン・左ラインの各一部(切取ったパーツ)画像 上記参照
又は、左上側のコーナー(ライン含む)画像【添付の「フレームカッター」ソフトで各ファイル作成】

作成方法

- ▶画面右下の「背景図形」の一覧から「飾り枠」を選択すると、右記の設定画面が表示されます。
- ▶「コーナー画像読込」ボタンをクリックして、ファイルを読み込みます。「上ライン画像読込」「左ライン画像読込」ボタンをクリックして、各ファイルを読み込みます。「リセット」ボタンで読込をリセットできます。
- ▶デザイン領域の範囲の左上をクリックしてから、右下をクリックします。
- ▶起動時は、コーナーの縦横サイズが160ドット(40mm)になっています。「コーナー横」160ドットの値を変更して、もう一度、左上、右下をクリックするとサイズの違う飾り枠が描けます。(ドット/4 ≒ mm)
- ▶「連動」のマークをクリックして□にすると、「コーナー縦」を「コーナー横」と違うサイズに変更出来ます。(通常は連動)
- ▶「O.K」ボタンをクリックすると、設定画面を閉じます。

注意：右上のXをクリックして設定画面を閉じないでください。

- ▶「追尾」ONの時、範囲の左上をクリックし、マウスを移動していると、ラインの幅サイズによっては、ラインパーツ間が合わない場合があります。「グリッド吸着」をOFFにして、移動してください。
- ▶コーナー画像だけ読込んで、4隅だけの飾り枠を作成できます。また、ラインだけ読込んで、上下や、左右の飾り枠も作成できます。
- ▶「飾り枠」が描画できたら、設定画面を閉じてください。
- ▶通常、コーナーの画像は回転配置です。

「シンメトリー配置」「据置き配置」にチェックマークを付けると、各配置のコーナー画像になります。

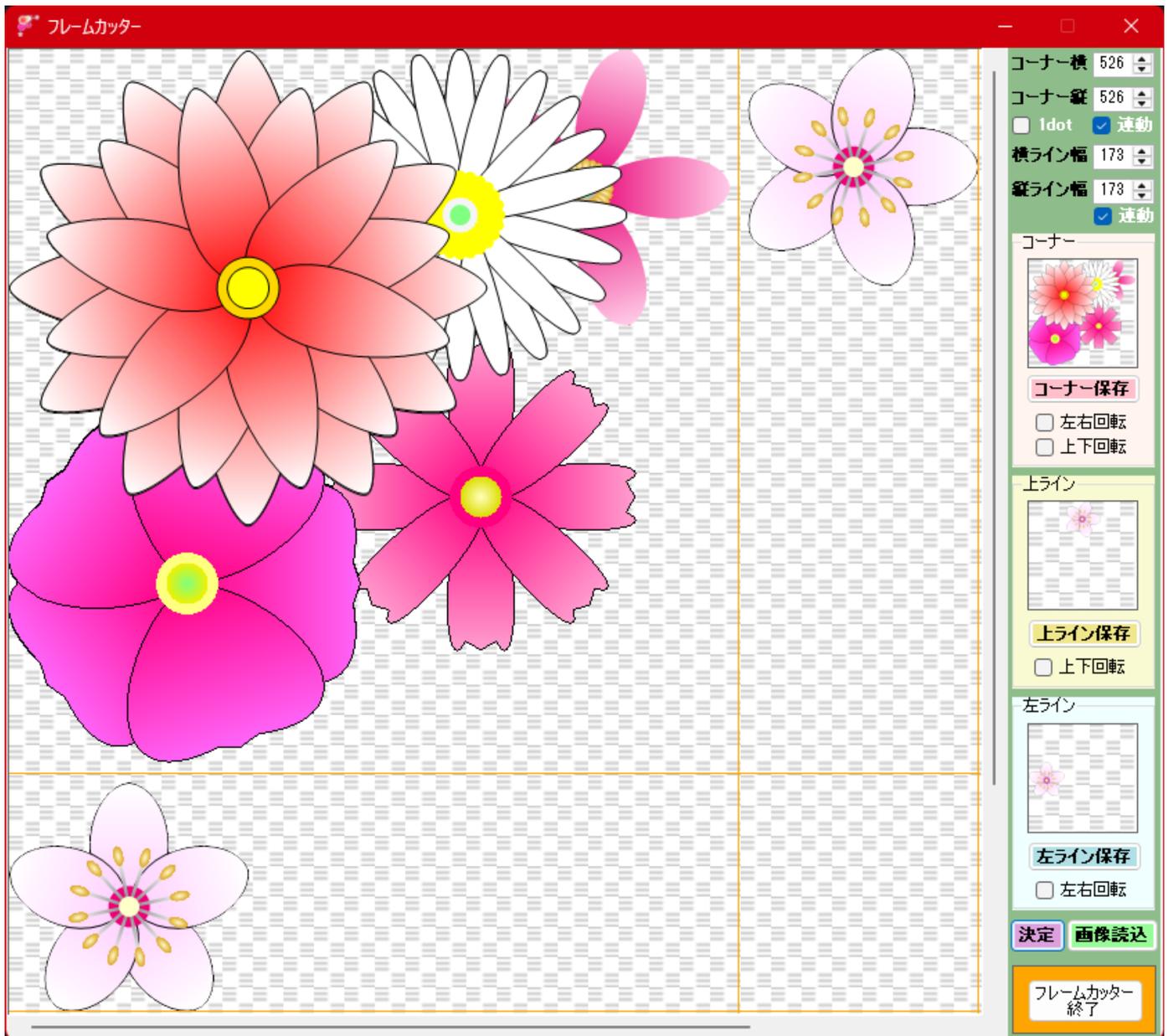


著作権のあるパーツ画像を使用しないで下さい。

フリーのパーツ画像でも商用に使えない場合があるので、ご注意ください。



フレームカッター取説（「Title」フォルダー内の「FrameCutter.exe」をダブルクリック）



- このソフトは左上コーナー画像(ラインパーツ有)から「コーナー」「上ライン」「左ライン」のファイルに分けるソフトです。例えば上記のような「コーナー画像」の場合
- ▶右下「画像読込」ボタンをクリックして、元の画像ファイルを読み込みます。
元の画像は、720×720ドット以下にしてください。
 - ▶左上「コーナー横」「横ライン幅」の数値を変更すると、オレンジラインが移動します。
カットしたい箇所に近付いたら、「□1ドット」をクリックしてチェックマークを付けます。
細かく数値を変更して、オレンジラインを移動します。
「コーナー縦」「縦ライン幅」を個別に数値変更する場合は、連動をクリックして、
チェックマークを外します。
 - ▶カットする場所が決まったら、右下の「決定」ボタンをクリックします。
各枠にカットしたデザインが表示されます。
 - ▶「コーナー保存」「上ライン保存」「左ライン保存」の各ボタンをクリックして、ファイル名をつけて保存します。
 - ▶各画像は、回転することができます。各回転のチェックマークを付けると回転します。
 - ▶「フレームカッター終了」ボタンをクリックすると、このアプリが終了します。

共通事項

1) 色選択

「○○色」のボタンをクリックすると、右記の「色の設定」画面が表示されます。

設定したい色をクリックして、「OK」ボタンをクリックすると、その色に変更できます。

虹色部分をクリックして、右端の縦バー部分の「◀」をマウスでクリックして上下することで色を選択することもできます。



2) 文字原点

文字の原点は、右記の場所(■)です。

「膨らみ配置、凹み配置」「円形配置」の原点は、中心位置(■)です。(下記参照)

跳ね上げ配置は、右記の場所(■)です。

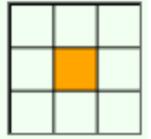


デザイン領域上をマウスでクリックすると、その箇所を文字原点として文字が描かれます。

注意： 文字の種類、フォントサイズ、文字数、その他設定によって、思い通りの装飾形状にならない場合があります。各種の設定を調整して、デザインしてください。

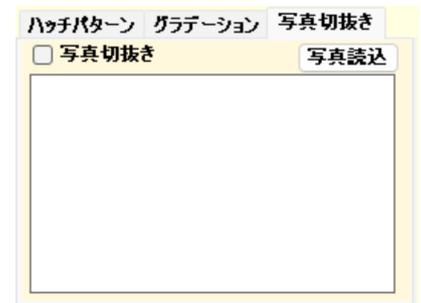
5) グラデーション

- ▶ 「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶ チェックリストの「グラデーション」がチェックされていることを確認します。
- ▶ 「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶ 「左色」「右色」ボタンをクリックして色設定します。
- ▶ 「線形」又は、「放射」を選択します。
- ▶ 目盛又は、ボタンをクリックすると、グラデーションが始まる方向の角度を指定することができます。(15° 単位)
- ▶ 「放射」の場合は、枠(3×3)の中をクリックし、放射中心を決めます。(右記)
- ▶ 「繰り返し」をクリックし、チェックするとグラデーションが回数設定分の分割で連続します。
- ▶ デザイン領域上でマウスクリックすると、その左下に文字が描かれます。



6) 写真切り抜き

- ▶ 「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶ チェックリストの「写真切り抜き」がチェックされていることを確認します。
- ▶ 「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶ 「写真を開く」ボタンをクリックして、写真やイラストのファイルを読み込みます。文字列幅が写真幅となります。
- ▶ 写真やイラストの切り抜きたい箇所(通常：上側 下方ならそれより下側)をクリックします。下記の様な文字になります。(金箔素材画像)



装飾文字デザイン

7) 縁付き

- ▶ 「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶ チェックリストの「グラデーション」がチェックされていることを確認します。
- ▶ 「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶ 縁の色は、「設定ツール」上部の「周辺色」ボタンをクリックして設定します。
- ▶ 「縁線幅」を設定します。最大幅にすると、下記の様になります。
- ▶ デザイン領域上でマウスクリックすると、その左下に文字が描かれます。
- ▶ 縁線幅は、**0.5~3mm**です。

縁線幅広

8) 縁付き(透明) (縦書き不可)

- ▶ 文字色、縁線幅は、設定不要です。その他は、「6) 縁付き」に同じです。
- ▶ 文字色は、**透明**、縁線幅は、0.5mmです。

装飾文字デザイン

9) 縁付き(写真) (縦書き不可)

- ▶ 文字色、縁線幅は、設定不要です。その他は、「6) 縁付き」に同じです。
- ▶ 文字色は、**透明**、縁線幅は、0.5mmです。文字の周りが白塗り状態になります。

- ▶写真切抜きするには？以下の手順で加工します。(画数の少ない文字が多いと見栄えが悪い)
 - ・「メニュー」「ファイル」「画像保存」でファイル名を付けて保存します。
 - ・グラフィックエディターで上記で保存したファイルを読み込みます。
 - ・文字の周り(白色部分外側含む)を囲んで「コピー」します。(囲み選択)
 - ・切り抜きたい写真のファイルを読み込みます。
 - ・切り抜きたい位置で「貼付け」します。
 - ・文字の周りの白色部分を選択して削除します。(色選択)
 - ・その外側の写真部分も囲んで削除します。(囲み選択)
 - ・余白部分を削除し、完成です。(文字部分を囲んで、コピー後、新規ドキュメントに貼付けも可)



10) 影付(浮き)

- ▶「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶チェックリストの「影付(浮き)」がチェックされていることを確認します。
- ▶「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶影の色は、「設定ツール」上部の「周辺色」ボタンをクリックして設定します。半透明色可能。
- ▶影位置(0.5~3mm)を設定します。文字からの離れ具合です。
- ▶デザイン領域上でマウスクリックすると、その左下に文字が描かれます。

装飾文字デザイン

11) 影付(直立) (縦書き不可)

- ▶「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶チェックリストの「影付(直立)」がチェックされていることを確認します。
- ▶「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶影の色は、「設定ツール」上部の「周辺色」ボタンをクリックして設定します。半透明色可能
- ▶影の長さ(0.5~3倍)を設定します。文字の高さの倍数です。
影が長かったりフォントサイズが大きい場合、影元が合わないことがあります。
- ▶デザイン領域上でマウスクリックすると、その左下に文字が描かれます。

装飾文字デザイン

12) 立体

- ▶「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶チェックリストの「立体」がチェックされていることを確認します。
- ▶「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶厚みの色は、「設定ツール」上部の「周辺色」ボタンをクリックして設定します。
- ▶立体文字の厚さは、「立体厚」(0.5~30mm)を設定します。通常、右向きですが左向きにする場合「立体右」の  をクリックして  にします。
- ▶デザイン領域上でマウスクリックすると、その左下に文字が描かれます。

13) 凹（縦書き不可）

- ▶「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶チェックリストの「凹」がチェックされていることを確認します。
- ▶「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶陰の色は、「設定ツール」上部の「周辺色」ボタンをクリックして設定します。
- ▶文字の背景色と文字色が同じ方が、見栄えが良いです。
- ▶デザイン領域上でマウスクリックすると、その左下に文字が描かれます。

14) 凸（縦書き不可）

- ▶「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶チェックリストの「凸」がチェックされていることを確認します。
- ▶以下上記「凹」に同じです。

-----配置-----

下記4種類の配置は「単一色」「パターン塗り」「グラデーション塗り(線形のみ)」「縁付き」ができます。上段リストと下段リストを選択します。(「縁付き(透明)(写真)」は使用できません)

15) 膨らみ配置（縦書き不可）

- ▶「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶下段チェックリストの「膨らみ配置」がチェックされていることを確認します。
- ▶「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶フォントサイズが大きいと用紙に収まりません。文字数は、多い方が見栄えが良いです。
- ▶デザイン領域上でマウスクリックすると、そこを中心に文字が描かれます。

16) 凹み配置（縦書き不可）

- ▶「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶下段チェックリストの「凹み配置」がチェックされていることを確認します。
- ▶「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類やサイズ等を決定します。
- ▶フォントサイズが大きいと用紙に収まりません。文字数は、多い方が見栄えが良いです。
- ▶デザイン領域上でマウスクリックすると、そこを中心に文字が描かれます。

17) 円形配置（縦書き不可）

- ▶「設定ツール」上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶下段チェックリストの「円形配置」がチェックされていることを確認します。
- ▶「フォント」ボタンをクリックして、フォントの種類等を決定します。
- ▶フォントサイズは、関係ありません。文字数は、多い方が見栄えが良いです。
- ▶文字上部位置の半径の目安(10~80)を入力します。
- ▶デザイン領域上でマウスクリックすると、そこを中心に文字が描かれます。

18) 跳ね上げ配置 (縦書き不可)

文字の回転ではありません。文字縦方向は常に垂直です。

- ▶ 「設定ツール」 上部文字入力欄に装飾したい文字を入力します。
- ▶ 下段チェックリストの「跳ね上げ配置」がチェックされていることを確認します。
- ▶ 「フォント」 ボタンをクリックして、フォントの種類等を決定します。
- ▶ 文字の傾きは「傾斜度」 (0~6)を入力します。
- ▶ デザイン領域上でマウスクリックすると、その右に文字が描かれます。

装飾文字デザイン
装飾文字デザイン
装飾文字デザイン
装飾文字デザイン
装飾文字デザイン
装飾文字デザイン
装飾文字デザイン
装飾文字デザイン

装飾文字作成 (応用編)

1) 文字合成

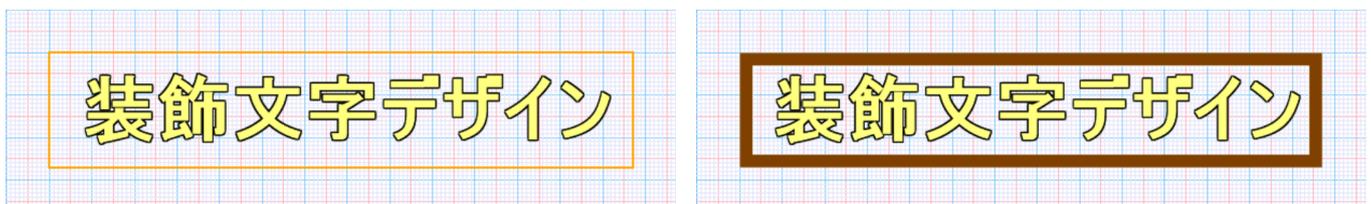
例：影付(浮き)のグラデーション文字を作成

装飾文字デザイン

- ▶ 最初に、影付(浮き)文字を設定し、デザイン領域上をマウスでクリックします。
- ▶ 次にグラデーション文字を設定し、最初にクリックした文字原点にカーソルを移動し、マウスでクリックします。
- ▶ マーブル色、虹色、ハッチパターン、グラデーションと、縁付き、影付、立体との合成できます。

2) 背景図形枠合成

例：縁付き文字に枠(中抜き)を付ける。



- ▶ 背景図形を設定し、デザイン領域上をマウスでクリックします。青とオレンジのガイドラインがクロスカーソルに着いて来ます。目的の位置でクリックし、背景図形枠を描きます。
- ▶ 縁付き文字を設定し、デザイン領域上をマウスでクリックします。枠の幅や文字の端からの離れ具合を考えてクリックします。

3) 装飾下線合成

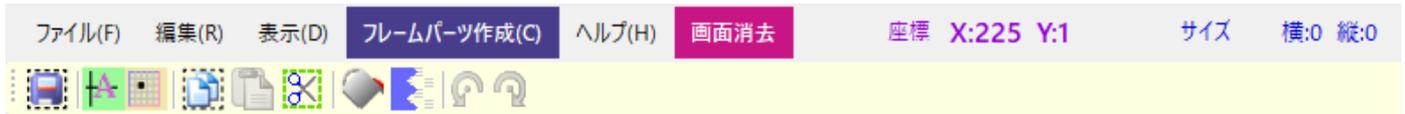
装飾文字と背景図形を組み合わせると装飾下線ができます。

ジグザグパターンや、横線パターンで二重線もできます。

操作は、上記「背景図形枠合成」と同じで、細かい範囲で背景図形を作成すれば、下線になります。



メニュー



1. ファイル

1-1) 新規

設定をソフトを起動した状態に戻します。

1-2) 画像保存

現在の文字デザインをピング画像形式(拡張子.png)で保存します。

1-3) 印刷プレビュー

プリンターの設定内容、印刷状態を表示します。

中央のバーを上下に動かすと、右のプレビューが拡大縮小されます。

細かい印刷設定は、印刷画面のプロパティから変更してください。

1-4) 印刷

印刷画面が表示され印刷ボタンをクリックすると、印刷します。

1-5) 終了

このソフトを終了します。

画像保存していない場合は、保存を促すメッセージが表示されます。



2. 編集

2-1) 範囲コピー

コピーしたい範囲の左上をクリックして右下にマウスを移動させると、白とオレンジの点線枠が表示されます。範囲が決まったら、その箇所でクリックします。下記の「貼付け」でコピーした内容が貼り付けできます。

2-2) 貼付け

上記「範囲コピー」又は、下記「範囲切取り」の画像を貼付けします。

クロスカーソルの右下に画像が表示されるので、貼付け場所でクリックします。

2-3) 範囲切取り

切取りしたい範囲の左上をクリックして右下にマウスを移動させると、白とオレンジの点線枠が表示されます。範囲が決まったら、その箇所でクリックします。上記の「貼付け」で切取りした内容が貼り付けできます。

2-4) やり直し

クリックする度、今の画像の一つ前の編集画像にやり直します。

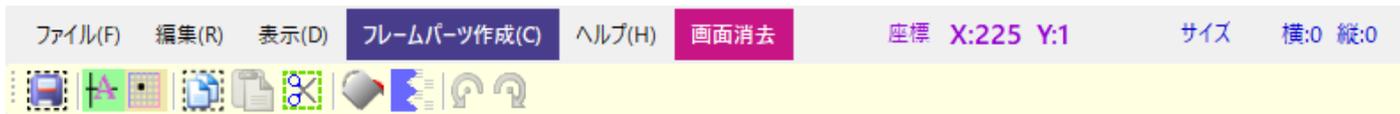
最大10回前までやり直しできます。それ以上前に戻せません。

2-5) 元に戻す

クリックする度、今の画像の一つ後に戻します。

最大10回後まで元に戻せます。



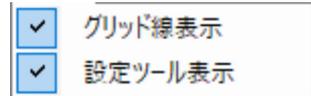


3. 表示

3-1) グリッド線表示

クリックしてチェックマークを外すと、グリッドを表示しません。

チェックマークを付けると、グリッドを表示します。



3-2) 設定ツール表示

クリックしてチェックマークを外すと、設定ツールを表示しません。

チェックマークを付けると、設定ツールを表示します。

4. フレームカッター起動

添付ソフト「[フレームカッター](#)」を起動します。詳細は、6ページ参照

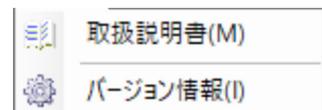
5. ヘルプ

5-1) 取扱説明書

この説明書を表示します。

5-2) バージョン情報

このソフトのバージョン情報を表示します。



6. 画面消去

全画面を消去します。確認画面が表示されます。

7. 座標 X Y

現在のクロスカーソルの座標 X (横) Y (縦) を表示します。

8. サイズ 横縦

ガイド線枠、範囲の縦横寸法を表示します。

9. ツールバー(範囲保存・カーソル動作・編集・色変更・やり直し・元に戻す)

9-1) 範囲保存

コピーしたい範囲の左上をクリックして右下にマウスを移動させると、白とオレンジの点線枠が表示されます。範囲が決まったら、その箇所でクリックします。ファイル名を設定し、範囲内の画像をピング画像形式(拡張子.png)で保存します。

9-2) 追尾

クロスカーソルの移動時にデータ設定した文字が付随します。
クリックして緑色が消えると、データ設定した文字が付随しません。

9-3) グリッド吸着

1mm単位でクロスカーソルが動きます。
クリックして黄色が消えると0.25mm単位でクロスカーソルが動きます。

9-4) 範囲コピー

コピーしたい範囲の左上をクリックして右下にマウスを移動させると、白とオレンジの点線枠が表示されます。範囲が決まったら、その箇所でクリックします。
下記の「貼付け」でコピーした内容が貼り付けできます。

9-5) 貼付け

上記「範囲コピー」又は、下記「範囲切取り」の画像を貼付けします。
クロスカーソルの右下に画像が表示されるので、貼付け場所でクリックします。

9-6) 範囲切取り

切取りたい範囲の左上をクリックして右下にマウスを移動させると、白とオレンジの点線枠が表示されます。範囲が決まったら、その箇所でクリックします。
上記の「貼付け」で切取りした画像が貼り付けできます。

9-7) ペイント

単色で描いた背景図形や文字の色を別の色に変更します。
「図形面色」を色設定します。
描画領域の変更したい色部分をクリックします。図形面色で塗潰されます。
もう一度クリックすると、ペイントモードが解除されます。
文字の色も同様に變更出来ますが、色は「図形面色」です。

9-8) 色消去

単色で描いた背景図形や文字の色を透明に切抜きます。
描画領域の変更したい色部分をクリックします。透明になります。
縁付きや影付の単色文字も透明にすることが出来ます。

9-9) やり直し

10回までのやり直しができます。クリックする度、編集画像が編集前に戻ります。
起動時の状態(全て空白)に戻すことが出来ません。

9-10) 元に戻す

上記「やり直し」後、10回まで元に戻すことが出来ます。クリックする度、編集画像が編集後に進みます。

作者からの注意事項

- ▣このソフトは、フリーソフトウェアです。
- ▣著作権は、私(HotCakeSoft)にあります。
- ▣コピーは自由ですが、大量配布や雑誌での配布の場合、私の許可が必要です。
- ▣改変や一部のコピーをしないでください。
- ▣このソフトウェアをパーソナルコンピューターへのインストールやその後、使用することによって生じるいかなる損害、障害、事故に対して私は、責任を負いません。

Copyright © 2025/3 著作者 : HotCakeSoft

- Ver1.0.0.0 とりあえず完成&公開
- Ver1.1.0.1 ハッチパターン背景色に「透明」機能追加、不具合修正
- Ver1.2.0.3 写真切抜き文字、縁付き(透明)、縁付き(写真)追加、不具合修正
- Ver1.3.0.1 「虹色」塗り追加、凹み配置追加、配置文字のパターン塗り、グラデーション塗り
縁付きが可能、不具合修正 (線形のみ)
- Ver1.4.0.6 跳ね上げ配置追加、背景図形9種類追加、アンドゥ機能追加、不具合修正
- Ver1.5.0.4 やり直し機能削除、追尾機能追加、グリッド吸着機能追加、クロスカーソルに変更
背景図形5種類追加(正多角形、星形、ブック、扇、ハート)、図形の作図仕様変更、
カーソル移動時、文字が図形の上に表示される様に修正、その他不具合修正
図形のグラデーションの放射塗り仕様変更
- Ver1.6.0.3 透明色文字のマウス移動が軽くなりました。飾り枠(「フレームカット」アプリ付属)
機能追加、縦書き文字作成可能(一部の装飾文字は不可)、不具合修正
- Ver1.6.1.4 ペイント、切抜き、やり直し(10回限定)、元に戻す機能追加
背景図形2種類(ナミモコ四角、ギザトゲ楕円)追加、不具合修正
- Ver2.0.0.7 編集機能、部分保存機能追加、不具合修正

